

地球温暖化対策推進事業の実施状況について

1 要旨・目的

県の温暖化対策の基本となる第3次広島県地球温暖化防止地域計画（以下、「地域計画」という。）に基づき実施した「地球温暖化対策推進事業」について報告する。

2 現状・背景

- 温室効果ガス削減目標を39.4%減（令和12（2030）年度比）とし、県民、事業者、行政等の各主体が総合的に温室効果ガスの削減対策に取り組むことを内容とする地域計画を令和5（2023）年3月に改定した。
- 地域計画においては、産業部門、民生（業務）部門はもとより、自主的な取組の進みにくい中小企業や家庭部門への施策を拡充することとしており、令和5年度の新規事業として、「中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業」、「省エネ機器導入支援事業」、「スマートハウス普及促進事業」で構成する「地球温暖化対策推進事業」を実施した。

3 概要

事業名	中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業
対象者	中小企業
実施内容	<p>■セミナー（参加者累計509名）</p> <p>7/28 脱炭素セミナー2023 in 広島（※中国電力、広島銀行と共催）</p> <p>10/10 広島県脱炭素・省エネセミナー in 福山</p> <p>1/26 広島県脱炭素・省エネセミナー in 広島</p> <p>■相談会（参加企業累計：194社）</p> <p>6月～12月まで7回開催</p> <p>■伴走型支援</p> <p>県内企業29社に対し、CO2排出量の可視化及び設備投資計画書作成を支援（2月中旬に完了見込み）</p> <p>【主な課題と対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・ セミナーは県単独での集客力は低いため、企業との共催など、発信効果の高い案件に絞る。・ 相談会では、現状把握に課題を抱えている事業者も一定数いることから、補助金に限らず省エネ支援制度のプログラムなど幅広く扱っていく。・ 伴走支援では、メリットを感じない、人的リソースが不足しているなどを理由に支援を見送られるケースが多くあった。事業者支援を魅力的に感じてもらうため、ニーズの高いCO2排出量の可視化に重点を置きつつ、取組内容を簡素化する。
予算	46,780千円

事業名	省エネ機器導入支援事業
対象者	家庭（LED照明器具の購入に際し、1/2補助（最大1万円）を実施
実施内容	<p>■ スケジュール</p> <p>8/21～1/21：対象製品の購入（当初から10日間前倒して終了） ～2/5：ポイント等の申請 ～2/27：ポイント等の交換</p> <p>■ 申請状況等（2/21時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数：23,545（件） ・申請台数：31,321（台） ・申請ポイント数：147,904,000（pt） <p>【主な課題と対応】</p> <p>想定以上に紙申請が多かったことや、電子申請も含めて申請手続きが煩雑との声を受け、簡素化を図っていく。</p>
予算	200,000千円

事業名	スマートハウス普及促進事業
対象者	住宅購入や改修を検討している県民、工務店等
実施内容	<p>セミナー開催：3回実施（参加者累計51名） イベント出展：5回実施（参加者累計636名）、残り1回予定</p> <p>【主な課題と対応】</p> <p>既存住宅の多くが省エネ基準を満たしていないことから、断熱改修の推進を図っていく。</p>
予算	5,000千円